

## 春の薫風を受けながら

校長 武井 正明

素晴らしい好天に恵まれた。ただ、風は強い。7, 8 mはあるな。

また陸上シーズンがやってきた。今日は長岡競技場に向かう。

競技場に着くと各校のテントが風に揺らめいている。こちらも随分勝手がわかってきた。大体あの辺だな。途中で男子諸君に会った。前日の三条会場で、何種目か通信の標準記録を突破したとの嬉しい報告を受ける。これでまたビッグスワンの吉中の走りが観られる。

テントに行くと女子選手メンバーがリラックスした雰囲気でも控えていた。走高跳の彼女は、前日標準記録をクリアしたという。「基準が下がったので…」と謙遜するが、とんでもない。基準が下がろうがそれを突破することの難しさを、私はゴルフで嫌というほど身に染みて感じている。今朝の練習ではあまり調子が良くなかったと、威勢のいい言葉は聞けなかった。今日の彼女の課題は、そんな状態でも最低限の数字を残すことかな。実はこれが非常に難しい。でも確実に一段上にハードルが上がっているようだ。これからの彼女の飛躍が楽しみだ。



今日の私の注目は女子 400m リレー。

この通信標準記録は 54 秒 40。スタンドで会った主顧問の山田先生は、上達してきているバトンパスが鍵、と仰っていた。

レースは始まった。この一気に走り出す直前の緊張感がたまらない。すごい勢いで選手たちが激走する。バトンパスはうまくいっているようだ。そして最終走者へ繋いでゴールへ飛び込んだ。



そして結果は…54 秒 49!! なんと僅か 0.09 秒届かなかった。悔しい〜。選手たちは尚更だ。でもまだチャンスはある。この悔しさがあるから、突破した喜びも、きっと倍増だよ。

そのレース前のテント。「校長先生、髪切りました?」「ハイ」「サッパリしたね」妻さえ素通りすることを、しっかり気づいてくれて、実はしみじみ嬉しかったです。帰宅して妻に話すと、「ホントにありがたいことだね。感謝しないとね」と言われました。ちょっと短めに切っておいて、よかったです。